



竜雲舜虹苑は地域の皆様の心と心をつなぐ虹の懸け橋でありたいと願っています。

## 「一枚起請文」について

新しい年、平成三十年が始まりました。今年はどうか、世界中で争いの無い、穏やかな年でありますようにと願ってやみません。

ところで、浄土宗をお開きになった法然上人は、今から八百六年前の建暦二年一月二十五日（旧暦）の正午頃に、御齡八十歳でご入滅されました。その二日前のことです。華頂山の大谷（今の知恩院）の病床で、常に法然上人のお側にいて、上人の臨終の近いことを感じとった若いお弟子の勢観房源智上人はお師匠様に、「お念仏のみ教えについては、長年お教え頂いて参りましたが、さらにお念仏の肝要（＝肝心な点）について一筆お書き頂き、のちの形見に致したく存じます。」とお願ひ申し上げました。そこで法然上人は、一枚の紙に肝要を書き上げられ、源智上人にお授けになりました。これが法然上人のご遺訓である「一枚起請文」と呼ばれるご法語であり、浄土宗の日常の勤行などによく用いられています。また、浄土宗ではお経として扱われるため、写経も行われたりします。「一枚起請文」は、わずか三百字足らずの短い文の中に、浄土宗のお念仏のみ教えを言い尽くしている名文として、昔からよく知られています。

この「一枚起請文」の全文について、ここで詳しく説明する余裕はありませんが、法然上人はこの「一枚起請文」の中で、「浄土宗のお念仏は、極楽往生することが出来ると深く信じて、ただ唱える以外には別のいわれはありません。」とご教示されています。そして文の終わり頃に、「智者のようなふるまいをしないで、ただひたすらお念仏を申しなさい。」と戒められています。これが、「愚痴に還る」ということであり、「自分自身をよく見つめ、まだまだ至らない、ちっぽけな存在であることに気づき、取るに足らない知恵や学問を打ち捨てて、お念仏による救いを求めなさい。」とおっしゃっておられるのです。

今月の二十五日頃に、全国各地の浄土宗寺院で法然上人の忌日法要である「御忌」が営まれますが、その法要中に、この「一枚起請文」が高らかに唱和されます。



## 新年の御挨拶

2018の年頭に当たり、謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

「地域の方へのご恩返し」の理念のもと、皆様が必要とされる「舜虹苑」となれるよう、職員一丸となり、サービズに努めてまいりたいと思います。本年もよろしくお願い致します。



施設長 川原江美

## 苑内行事



イベント食 (かに鍋)



クリスマス会



くにとう幼稚園訪問



もちつき大会



## デイサービス 俳句大会



デイサービスでは、毎月第1月曜日にボランティア講師として藤本先生と山田先生をお招きして俳句クラブを開催しております。今回のお題は「新春」、感性豊かな利用者様が作った作品の数々を、ご紹介致します。



寒風にさか立つ髪を五指で梳く 千代子

初笑い孫の来て家華やいで 千恵子

やまぶきの枯れて残りし黒き実や マチ子

辛抱に生きた喜び実南天 タカ子

赤い実の残る千両触れておく アサ子

新成人雨にも風にも負けないで 礼子

参道の八咫がらす像淑気満つ 尚代

## 社会福祉法人竜雲学園 竜雲舜虹苑

特別養護老人ホーム  
短期入所サービス  
通所介護サービス  
認知症型通所サービス  
訪問介護サービス  
老人介護支援センター  
ケアハウス

〒761-8078  
高松市仏生山町甲 3100 番地 2  
TEL: 087-888-5800  
FAX: 087-889-1004

## 「インフルエンザ警報発令！」

今年は、例年より寒い日が続いています。1月に入りインフルエンザ注意報が発令されました。香川県インフルエンザ・感染性胃腸炎対策連絡会に掲載されていました。

## ☆インフルエンザ対策

- ・うがい、手洗いをしましょう。
- ・咳が出る時はマスクを着けましょう。
- ・十分な栄養とバランスの取れた栄養摂取を心がけましょう。
- ・適度な湿度（50〜60％）を保ちましょう。
- ・人ごみや繁華街への外出を控え、外出時はマスクを活用しましょう。
- ・予防接種は、発症をある程度抑える効果や、重症化を予防する効果があります。

## ☆症状が現れたら？

突然の高熱、咳、頭痛などの症状が見られ、インフルエンザが疑われる時は、まずかかりつけ医に電話して受診時間や受診方法などを確認し、マスクをして受診しましょう。（できる限り診療時間内に受診しましょう。）